

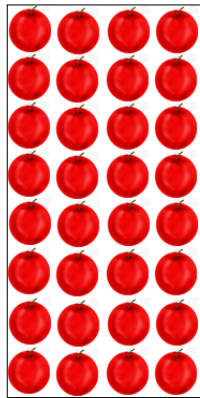
図の書き方

文章問題は、長方形の図を書いて、考えると、とてもおもしろく解くことができます。どんな問題もたし算、ひき算、かけ算、わり算をつかって解けますから、たて、よこ、面積の関係を利用して、長方形であらわすことができるはずです。だれでもできるやさしい図の書き方、考え方を説明します。どんな算数のきれいな人も、必ず大好きになると信じます。

[1] りんごが、箱につめてあります。たてに1れつ8こずつ、4れつきれいにならんでいます。みんなでいくつありますか。

(図の書き方)

(1図)



にこにこさんすう

問題を読んで、一つ一つのいみを、よく考え、その通りに、ずを書くことをいっしょうけんめい、れんしゅうします。

箱のりんごは、たてに1れつ、8こずつ、きれいに、ならべてあるというのですから、その通りに、たてに1れつにりんごを8こ書きます。

2れつめ、又8こ書きます。3れつ、……、8こ、4れつ、……、8こ書きました。

(1図) そして、実際は、2図、3図、4図、5図のようにどれでも自分のすきな図を書きます。5図は白いインキでりんごを8こ、4れつに書いてあるのです。見えませんか

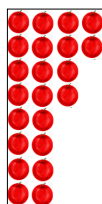


図1

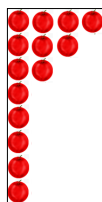


図2



図3

1. 図の書き方

図を書くのはめんどうだという人がいます。しかし、次の(5図)なら、書くのにめんどうではないでしょう。



図 4

たての長さ、とよこの長さの、わかっている長方形の面積は
(たて) × (よこ) = (面積)

$$8 \times 4 = 32 \quad \text{答え} \quad 32 \text{こ}$$

こんな問題は何もわざわざ、図を書かないでも、できると思うでしょうが、どんなによくあんざんで、できる人でも、その人がこのやさしい問題をあんざんでするのと、じっさいにりんごを書いて、又は(5図)のような図を書いてするでは、たいへんなちがいがあ
るのです。このことがわかりかけると、心から算数がすきになります。

たとえばみると、まずそうなみかんが1こあります。このみかんをほんとうにたべてみると、ほっぺがおちるほどおいしい味

にこにこさんすう

がするようなものです。ばかにせず、とにかくやってみることで
す。つまらないと思わず、たってみると味が出てきます。一つ一つ
図にかくのは、ばかばかしいようなことですが、なかなか大切なこ
とです。問題はむずかしいところが、むずかしいのではなくやさし
いところをばかにして、本気にやらないから、すこしややこしくな
ると、ちんぷんかんぷんになるのですよ。どんなむずかしい問題で
も、おもしろく、人がびっくりするくらいはやくとくには、やさし
いところほど、ねんを入れて練習してください。きそのところを本
当に自分のものとするのが上手になるかぎです。

[2] ひろ子さんは静岡駅で、みかん6こ入りの あみふくろを
7人の子供に一つずつ買ってあげました。みかんはみんなで
どこでしょう。



図5

(1) と同じようにはかけないでしょうか。たてに、どこ書いたらいい
でしょうか。1人でどこもっていますか。1人、1ふくろ、6こ
です。そう、たてに、1人分のみかんを書いてみます。(1) たて
に6こみかんを書きます。